

DREAM POWER



Ver. DP 1.1000

ユーザーズマニュアル

ご 注 意

本ソフトウェアは自動車整備事業者ならびに自動車検査員が整備記録簿を
発行する際に作成を支援するツールです。

検査時における保安基準の検算機能などがありますが、記録簿の発行は、あ
くまでも自動車整備事業者ならびに自動車検査員の責任において行って
ください。弊社は発行された記録簿に対して一切の責任を負いません。

はじめに

このたびは記録簿 DIRECTOR をご利用いただき、まことにありがとうございます。

記録簿 DIRECTOR は自動車整備事業において発行される記録簿（指定整備記録簿、点検整備記録簿、分解整備記録簿）を簡単に、素早く、確実に発行できるソフトウェアです。

本書は記録簿 DIRECTOR の概要、操作について説明しています。本製品をご使用になられる前に必ずお読みください。

なお、本書の内容は、Microsoft® Windows®の基本的な操作を習得していることを前提に記述しています。プリズマ・サービスではホームページから記録簿 DIRECTOR に関する情報を提供しています。どうぞご利用ください。

<http://www.kirokubo.com/>

2011年1月
有限会社プリズマ・サービス

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

コンピューターウイルス関連による被害

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ・ 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書にご不明な点、誤り、記載もれなどがありましたら弊社までご連絡ください。

記録簿 DIRECTOR の概要

1. 記録簿 DIRECTOR を使うと簡単な操作のみで素早く整備記録簿を作成することができます。
2. 手書きの必要がありませんので、市販のレーザープリンタやインクジェットプリンタで普通紙(A4 もしくは A3)に高速に美しく出力することができます。従来のインパクトプリンタは不要となります。
3. 車検証データを DREAM POWER からダイレクトに入力することができます。
4. 車検証、整備記録簿の実物のレイアウトを意識した、わかりやすい画面構成となっています。
5. マウスやタッチパネルを使用するの直感的で使いやすい入力を実現しています。
6. 間違いがあってはならない検査欄も、現行保安基準と車検証情報をもとに安心して発行することができます。

第一章 準備

P5 初期設定

第二章 操作

P10 起動と終了

P11 保存と読み込み

P12 車検証内容タブ

P14 点検整備①タブ

P16 点検整備②タブ

P18 検査タブ

P26 出力確認タブ

P29 保適証等タブ


第三章 その他

P30 サポート

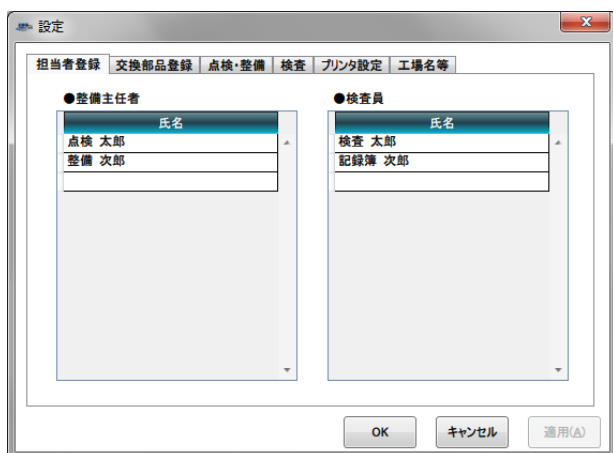
アプリケーションを使用する前に、あらかじめ事業場ごとの設定を行います。

設定ウィンドウの表示

記録簿 DIRECTOR を起動します。(起動方法は**第二章操作 起動と終了**をご参照ください)

アプリケーションのウィンドウ右上にある**メニューアイコン**  をクリックします。
表示されたメニューから**[設定]**をクリックします。

担当者登録タブ



整備主任者と**検査員**を登録します。

各欄をクリックしてキーボードにて氏名を入力します。

[適用]をクリックします。**[OK]**をクリックします。

交換部品登録タブ



部品名	単位1	単位2	単位3	単位4	単位5
エンジンオイル	ℓ				
ブレーキフルード	ℓ				
LLC	ℓ				
エンジンオイルエレメント	個	セット			
エアエレメント	個				

交換部品項目を登録します。

各欄をクリックして、キーボードにて部品名を入力します。

単位欄にはそれぞれの部品に対応する**単位**を入力します。

[適用]をクリックします。**[OK]**をクリックします。

参考 事業場で頻繁に使用される部品名を登録しておくことをお勧めします。

点検・整備タブ

メンテナンスに関するアドバイスを登録します。

各欄をクリックして、キーボードにてアドバイスの文言を入力します。

[適用]をクリックします。[OK]をクリックします。

検査タブ

検査関係の登録や設定をします。

制動力単位:

事業場にて使用している制動力テスターの単位を選択します。

選択肢は、**Kg** と **N** です。

ロック状態等:

前輪の全車輪ロック **ボタンの表示** を設定します。2個並んだボタンをそれぞれ押下状態にすることで、検査の前輪欄にボタンを表示させます。

右側のテキスト欄には、前輪の全車輪ロックを適用する際の、**出力テキスト** を設定します。

注意 実際の指定整備記録簿に出力する文言となります。

手動のテキスト欄には、手動ブレーキのロックを適用する際の、**出力テキスト** を設定します。

注意 実際の指定整備記録簿に出力する文言となります。

テスト湿潤のテキスト欄には、制動力テスト湿潤状態を適用する際の、**出力テキスト** を設定します。

注意 実際の指定整備記録簿に出力する文言となります。

検査方法に関する設定:

すれ違い灯検査方法を選択します。選択肢は**テスト、スクリーン**の2種類です。

黒煙オパシ視認数値は黒煙 25%規制車をオパシメータによって検査をおこなったが、規制値 0.80 を超えた後で視認により合格と処理した場合の**測定数値を記載する欄**を選択します。選択肢は**黒煙欄、その他欄、備考欄**の3種類です。

選択項目設定:

検査欄において使用する**スライダー**と対応する記録簿の表示 (**出力テキスト**) と、その初期値を設定します。

注意 実際の指定整備記録簿に出力する文言となります。

使い方として、例えば前照灯の検査において、毎回下向き 7 cm 左右 0 cm に合わせる場合、初期値をそれぞれ入力しておく、デフォルト数値として設定することができます。もちろん検査入力時に変更することも可能です。

[**適用**]をクリックします。[**OK**]をクリックします。

プリンタ設定タブ



プリンタ(印刷)の設定を登録します。

まず使用するプリンタを選択します。

その横の **詳細設定** をクリックしてプリンタの印刷設定を開きます。

各プリンタドライバの印刷設定が開きますので、以下の例のように内容を設定します。

原稿の向き : 横原稿
自動両面印刷 (A 4 両面プリンタ) : 短辺綴じ
Nアップ (A 3 プリンタ) : 2 アップ
部数 : 2

部数 : 部数を確認します。

印刷時にダイアログを表示 : 印刷時にダイアログを表示させたい場合はチェックします

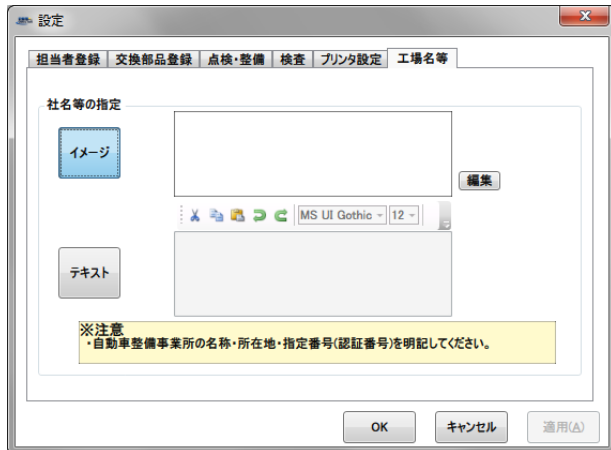
マージン : 印刷時の余白を設定します。パンチで穴を開けて閉じる場合は上部マージンを 15mm 以上とつ

てください。

整備保証書の印刷：整備保証書を併せて印刷したい場合にチェックします。

[適用]をクリックします。[OK]をクリックします

社名設定タブ



記録簿に記載する社名（事業場名）の設定をします。

イメージ（画像）を使用する方法と、テキスト（文字のみ）を使用する方法の2種類があります。編集の際には、以下の項目を含めてください。

- 1 指定自動車整備事業場の名称
- 2 指定自動車整備事業場の所在地
- 3 指定番号
- 4 認証番号

イメージ(画像)を使用する方法

[イメージ]をクリックし、右の[編集]をクリックします。画像編集ソフトが開き、社名イメージを編集することが出来ます。編集の後上書き保存してください。

[適用]をクリックします。[OK]をクリックします。

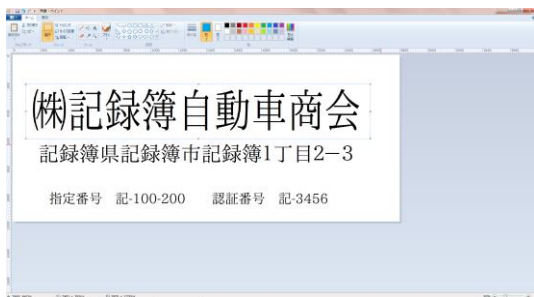
テキスト(文字のみ)を使用する方法

[テキスト]をクリックし、右空欄にて編集します。

[適用]をクリックします。[OK]をクリックします。

注意 ここでは画像編集ソフトの使用方法については説明いたしません。

参考 windows の標準の画像編集ソフトは**ペイント**ですが、その他の画像編集ソフトを使用することも可能です。



記録簿 DIRECTOR の起動と終了

起動


お使いの **DREAM POWER** から起動します。


終了

ウインドウ右上の“×”をクリックして終了します。
もしくは、[メニュー]ボタン→[終了]をクリックして終了します。

入力内容の初期化

入力をすべて消去し、アプリケーション起動時の状態にする操作です。


アプリケーションのウインドウ右上にある**メニューアイコン**  をクリックします。
表示されたメニューから[内容初期化]をクリックします。
[はい]をクリックしてください。

再度 DREAMPOWER から車検証データを取得するには、
アプリケーションのウインドウ右上にある**メニューアイコン**  をクリックします。
表示されたメニューから[DREAMPOWER 読込]をクリックします。
[はい]をクリックしてください。


入力内容の保存、読込

入力の途中や完了時、入力内容を保存することができます。
また、保存した入力内容をいつでも読み込むことができます。

入力内容の保存

アプリケーションのウィンドウ右上にある**メニューアイコン**  をクリックします。
表示されたメニューから**[内容保存]**をクリックします。
保存先を指定して**[保存]**をクリックしてください。

入力内容の読み込み

アプリケーションのウィンドウ右上にある**メニューアイコン**  をクリックします。
表示されたメニューから**[内容読込]**をクリックします。
読み込むファイルを指定して**[開く]**をクリックしてください。

注意 発行する全ての記録簿のファイルを保存することをお勧めしますが、**事業場控え**として本機能は使用しないでください。

第二章 操作 車検証内容タブ

アプリケーション起動直後の画面です。
主に作成する**記録簿の選択**と**車検証内容の記入**を行います。

入力内容を確認の後、画面上部の**点検整備①タブ**をクリックして画面を切り替えます。

自動車登録番号又は車両番号	登録年月日/交付年月日	初年度登録年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状
記録簿 300み 1234	平成22年3月15日	平成22年3月	普通	乗用	自家用	箱型
車名	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量		
トヨタ	5	1600	1875			
車台番号	長さ	幅	高さ	前軸高	後軸高	前後軸重
GRS202-0123456	487	179	147	850		750
型式	原動機の型式	排気量又は定格出力	燃料の種類	型式指定番号	種別区分番号	
DBA-GRS202	3GR	2.99	ガソリン			
依頼者の氏名又は名称	記録簿 一部					
依頼者の住所	記録簿県記録簿市指定1丁目2-3					


別表タイプ、記録簿タイプを選択

別表タイプを選択します。希望する別表タイプをクリックします。


発行タイプ(作成する記録簿の種類)を選択してクリックします。

受付情報を入力

受付情報を入力します。

受付年月日を右側の  をクリックして**カレンダー**を起動します。

直接クリックして日付を入力します。

依頼者氏名と**住所**を入力します。後述の車検証情報を入力した後であれば、右側の  をクリックすることで**使用者欄**より氏名と住所を引用して入力することが可能です。

必要に応じて**備考欄**と**依頼事項欄**を入力します。

注意 この依頼者情報欄は指定整備記録簿作成時にのみ出力されます。

車検証種類選択

普通検査証	軽検査証	普通抹消	軽抹消	普通リース等
-------	------	------	-----	--------

車検証の種類を選択してクリックします。

車検証内容を確認

ここでは**車検証の内容**を確認します。

DREAMPOWERからの車検証の内容を実際の車検証と比較して確認してください。

相違がある場合にはキーボードやプルダウンメニューを使用して、直接修正します。

注意 指定整備記録簿作成時には非常に重要な入力内容となります。全ての入力欄を確実に入力してください。

日付欄については簡易入力も可能です。

入力例：

平成年月日 “平成 23 年 1 月 21 日” → “23/1/21”

昭和年月日 “昭和 63 年 1 月 21 日” → “s63/1/21” または “S63/1/21” など

平成年月 “平成 23 年 1 月” → “23/1”

昭和年月 “昭和 63 年 1 月” → “s63/1” または “S63/1” など

平成年月(月なし) “平成 2 年-月” → “2/-” または “2/-” など

平成年月(月なし) “昭和 63 年-月” → “s63/-” または “S63/-” など

各項目欄で右端に▼が付いているものは、▼をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

表示された該当の項目をクリックするか、空欄に直接テキスト入力してください。

第二章 操作 点検整備①タブ




点検整備の記号入力をするタブです。

入力完了後はよく確認の後、画面上部の点検整備②タブをクリックして画面を切り替えます。

点検記号入力ボタン

各点検項目をクリックすると



このような記号ボタンが出てくるので、該当記号をクリックして入力します。
 また、マウスのドラッグにて複数項目を一度に選択し、一括して入力することも可能です。
 記号ボタンが不要な場合は、ボタンウィンドウの上で**右クリック**するか、ボタンの並びの右上の  をクリックして記号ボタンを消します。

注意ボタン

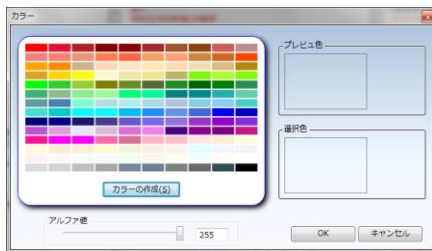


クリックすると**点検項目についての注意事項**が表示されます。よくご確認ください。

文字カラー設定ボタン



クリックするとカラーパレットが起動し、**文字カラー設定モード**になります。



カラーパレットの色をクリックして選択し、 をクリック。

選択した色に変更したい点検項目をクリックすると、項目の表示色が変更されます。

終了時は再度**文字カラー設定ボタン**  をクリック。

注意 ここでの文字カラーの設定は入力補助のものであり、印字には反映されません。

設定を登録ボタン



現在のタブ内の**記号入力状態**と、**文字カラー設定状態**を、アプリケーション内に**登録保存**することができます。

工場の基本的な整備スタイルを保存されることをお勧めいたします。

設定を反映ボタン



アプリケーションに保存された**登録内容**を呼び出して**一括入力**するボタンです。

このタブにおいては、まず、この反映ボタンを押して仮に**一括入力**しておき、そのあと個別の項目を修正すると短時間で点検整備の入力を済ませることが可能です。

注意 設定を反映後も、入力者の責任で確認をおこなってください。

第二章 操作 点検整備②タブ



点検整備における、**記号入力以外の情報**を入力するタブです。

入力完了後はよく確認の後、画面上部の**検査タブ**をクリックして画面を切り替えます。

(指定整備記録簿以外の記録簿作成時には**出力確認タブ**をクリックして画面を切り替えます。)

タイヤの溝の深さとブレーキの厚さの入力



各マスに**タイヤの溝の深さ**と**ブレーキの厚さ**の数値を入力します。

キーボードの **Tab キー** を押すと入力マスが遷移しますので、効率よく入力することが可能です。

交換部品等の入力



部品名の書かれたボタンをクリックして選択状態にします。

ボタンの設定されていない部品については、最下部の入力欄に直接キーボードで部品名を入力します。

続いて**数量**を入力します。

さらに単位の変更の必要がある場合は変更します。

参考

部品名のボタンは別に説明する設定にて編集が可能です。

CO, HC濃度の入力

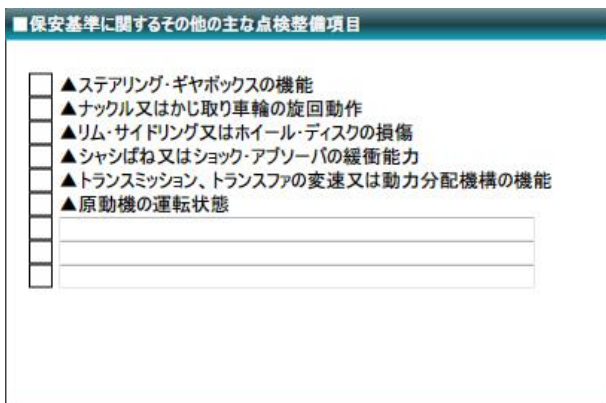


CO、HCの濃度をそれぞれ入力します。

をクリックすると出力時に斜線にて否定します。

をクリックすると、のちに**検査タブ**で入力する数値が点検整備の項目にも反映されます。

保安基準に関するその他の主な点検整備項目の入力



保安基準に関するその他の主な点検整備項目の入力をします。

点検整備①タブでの記号入力と同様の操作をおこなって入力します。

シビアコンディションの点検項目のほか、**独自の点検**を入力する場合は、空の入力欄に直接キーボードで入力します。

注意 カラー設定はできません。

メンテナンスに関するアドバイスの入力



メンテナンスに関するアドバイスの入力をします。

該当のボタンをクリックします。

ボタンに無い文言は入力欄に直接キーボードで入力します。

参考 文言のボタンは別に説明する設定にて編集が可能です。（“初期設定”参照）

点検整備情報の入力



点検整備情報の入力をします。

受付年月日と同様に、**点検年月日**と**整備完了年月日**を入力します。

表示されている**整備主任者の氏名**をクリックすると、**整備主任者**を選択できますので、クリックして決定してください。

総走行距離を入力してください。

可能です。（“初期設定”参照）

参考 整備主任者は別に説明する設定にて編集が

指定整備記録簿を作成する際に入力するタブです。

その他の記録簿では表示されません。

各欄に**検査情報**を入力します。

入力完了後はよく確認の後、画面上部の**出力確認タブ**をクリックして画面を切り替えます。

注意ボタン



クリックすると当アプリケーションを使用している指定整備記録簿作成についての**注意事項**が表示されます。よくご確認ください。

設定を登録ボタン



現在のタブ内の**入力用コントロールの選択状態**を、アプリケーション内に**登録保存**することができます。

キーボードにて入力する内容は保存されません。

使い方は**点検整備①タブ**のときと同じです。

工場の基本的な検査方法を保存することができます。

設定を反映ボタン



アプリケーションに保存された登録内容を呼び出して**一括入力**するボタンです。

このタブにおいては、まず、この反映ボタンを押して仮に**一括入力**しておき、そのあと個別の項目を修正すると短時間で検査情報の入力を済ませることが可能です。

検査機器等による検査の入力


制動力				前照灯				前部霧灯		警告機	
右	3300	軸重	左右差	右	左	取付高さ	光	主×100	副×100	速度計の誤差	定常走行騒音
左	3150	955	0.16	7	7	7	7	0	0	0	レ
後	右	2750	790	100	0	0	0	0	0	0	レ
左	2650	6.83	0.13	0	0	0	0	0	0	0	レ
計	11850	車両重量	7.01								
手動	4100	1690	2.42								
走行テスト等の方法と結果											

検査機器等による検査の入力をおこないます。

実際の指定整備記録簿と同じレイアウトにて入力を行います。

数値入力時には **Tab キー** によって効率よく入力欄が遷移し素早く入力することができます。

また、**点検整備①タブ**と同様に内容の登録と反映が可能です。

各欄にある  ボタンをクリックすると、**斜線**にて項目を否定します。(もう一度クリックで解除します。)

制動力の検査入力

制 動 力				自動計算
前 軸	右	<input type="checkbox"/> 全車輪ロック	軸重	左右差
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	左	N	<input type="text"/>	N
		<input type="text"/>	kg	N/kg
後 軸	右	<input type="text"/>	軸重	左右差
		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	左	N	kg	N
		<input type="text"/>	N/kg	N/kg
計	<input type="text"/>	車両重量	<input type="text"/>	
	N	<input type="text"/>	N/kg	
手動	<input type="checkbox"/> ロック	<input type="text"/>	kg	N/kg
	N	<input type="text"/>	N/kg	
走行テスト等の方法と結果		<input type="text"/>		

制動力をキーボードにて入力します。

自動計算ボタン をクリックして**ONの状態**にしておくと、差や和が自動計算されて入力されます。

“**全車輪ロック**”の記入をする場合は 全車輪ロック をクリックします。

“**ロック**”の記入をする場合は ロック をクリックします。

“**W**”の記入をする場合は W をクリックします。

走行テスト等の方法と結果欄に記入をする場合は、キーボードにてテキスト入力します。

注意 “N”と“kg”の単位を変更する場合や、記入する文言を変更する場合は別に説明する設定にて変更をおこなうことが可能です。

前照灯の検査入力

前照灯	
右	左
取付高さ 走行用(ハイビーム) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm	走行用(ハイビーム) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm
光軸 (エルボータ点又は光度測定点) 下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm	下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm
左 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm	左 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cm
主×100 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cd	主×100 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cd
副×100 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cd	副×100 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="text"/> cd

まず、取付高さ欄の上部にある 走行用(ハイビーム) にて前照灯の**検査方法**を入力します。(スライダー横の三角をクリックして切り替えます。)

選択肢は**走行用(ハイビーム)**、**すれ違い灯カットオフ・有**、**すれ違い灯カットオフ・無**の3種類です。

取付高さを左右それぞれ入力します。

⇒ をクリックして**ONの状態**にしておくと、右に入力された検査数値が左にも反映されます。

光軸欄の 下 もスライダーとして切り替え動作させます。選択肢はそれぞれ**上**、**下**、**(空欄)**です。空欄は入力が0のときに使用します。

左 も同様にスライダーとして切り替え動作させます。選択肢は**左**、**右**、**(空欄)**の3種類です。

光軸の検査数値をそれぞれ入力します。

⇒ の動作も同様です。数値は左に反映されますが、スライダーはそれぞれを操作してください。

光度の検査数値をそれぞれ入力します。

参考 事業場での検査において毎回光軸を決めた数値に調整している場合は、別に説明する**設定**にて設定することが可能です。

前部霧灯の検査入力



まず、 **(装置指定 無) テスタ**  で**前部霧灯**の検査方法を入力します。

選択肢は**(装置指定 有) テスタ**、**(装置指定 無) テスタ**、**(装置指定 有) 視認**の3種類です。

テストで検査を行った場合は検査数値を入力します。

速度計の誤差の検査入力



 **+**  で**速度計の誤差**の検査数値の正負を入力します。

選択肢は**+**、**-**、**±0**の3種類です。

速度計の誤差の検査数値を入力します。

指示針の振れの検査入力



指示針の振れの検査数値を入力します。

速度表示灯の誤差の検査入力



 **+**  で**速度表示灯の誤差**の検査数値の正負を入力します。

選択肢は**+**、**-**、**±0**の3種類です。

検査数値を入力します。

タイヤの振れの検査入力

タイヤの振れの検査で良好の場合は **良** をクリックします。

サイド・スリップの検査入力

◀ **イン** ▶ を切り替え操作して、**サイド・スリップ**の検査入力を選択します。選択肢は**イン**、**アウト**、**(空欄)**の3種類です。(空欄)は入力が**0**のときに使用します。

検査数値を入力します。

別表の種類によって“**2軸**”切り替えボタンが表示されます。押下すると前前軸、前後軸のそれぞれの入力が可能です。

警音器の検査入力

◀ **テスト** ▶ を切り替え操作して、**警音器**の検査入力を選択します。

選択肢は**テスト**、**聴感**の2種類です。

テストで検査を行った場合は数値を入力します。

定常走行騒音の検査入力

◀ **テスト** ▶ を切り替え操作して、**定常走行騒音**の検査入力を選択します。

選択肢は**テスト**、**聴感**の2種類です。

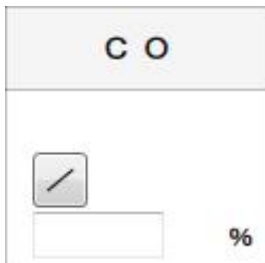
テストで検査を行った場合は数値を入力します。

排気騒音の検査入力



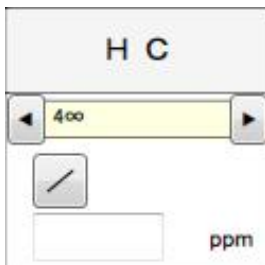
◀ **テスト** ▶ を切り替え操作して、排気騒音の検査入力を選択します。
選択肢は**テスト**、**聴感**の2種類です。
テストで検査を行った場合は数値を入力します。

COの検査入力



COの検査数値を入力します。

HCの検査入力



◀ **400** ▶ を切り替え操作して、**HC**の検査入力を選択します。
選択肢は**400**、**200**、**特殊**の3種類です。
検査数値を入力します。

黒煙の検査入力



◀ **テスト(DS)** ▶ を切り替え操作して、入力を選択します。
選択肢は**テスト(DS)**、**テスト(オパシ)**、**テスト(オパシ視認)**、**視認**の4種類です。
テストで検査を行った場合は検査数値を入力してください。
テスト(オパシ視認)を選択した場合にも、検査数値を入力してください。

目視等による検査の入力

■目視等による検査	
構造	
<input type="checkbox"/>	①最低地上高
<input type="checkbox"/>	②最大安定傾斜角度
<input type="checkbox"/>	③最小回転半径
装置	
<input type="checkbox"/>	①原動機及び動力伝達装置
<input type="checkbox"/>	②走行装置
<input type="checkbox"/>	③操縦装置
<input type="checkbox"/>	④制動装置
<input type="checkbox"/>	⑤緩衝装置
<input type="checkbox"/>	⑥燃料装置及び電気装置
<input type="checkbox"/>	⑦車枠及び車体
<input type="checkbox"/>	⑧連結装置
<input type="checkbox"/>	⑨乗車装置及び物品積載装置
<input type="checkbox"/>	⑩前面ガラスその他の窓ガラス
<input type="checkbox"/>	⑪騒音防止装置
<input type="checkbox"/>	⑫ばい煙等の発散防止装置
<input type="checkbox"/>	⑬灯火装置及び反射器
<input type="checkbox"/>	⑭警報装置
<input type="checkbox"/>	⑮指示装置
<input type="checkbox"/>	⑯視野を確保する装置
<input type="checkbox"/>	⑰走行距離計その他の計器
<input type="checkbox"/>	⑱防火装置
<input type="checkbox"/>	⑲内圧容器及びその付属装置
<input type="checkbox"/>	⑳その他(運行記録計・速度表示装置)

点検整備①タブでの記号入力と同様の操作を行って入力します。

ただし、選択肢は“/”と“レ”の2種類となっています。

車検証照合欄のその他の入力

■車検証照合欄のその他	
その他:	
<input type="text"/>	

指定整備記録簿における、「自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合」欄の「その他」欄に入力をする必要がある場合は、当欄にキーボードを使用して入力します。

検査情報の入力

■検査情報	
検査年月日:	平成22年12月1日 <input type="button" value="15"/>
自動車検査員の氏名:	検査 太郎
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号:	<input type="text"/>
保安基準適合標章交付:	<input type="button" value="有"/> <input type="button" value="無"/>
限定保安基準適合証の番号:	<input type="text"/>

受付年月日などと同様に、**検査年月日**を入力します。

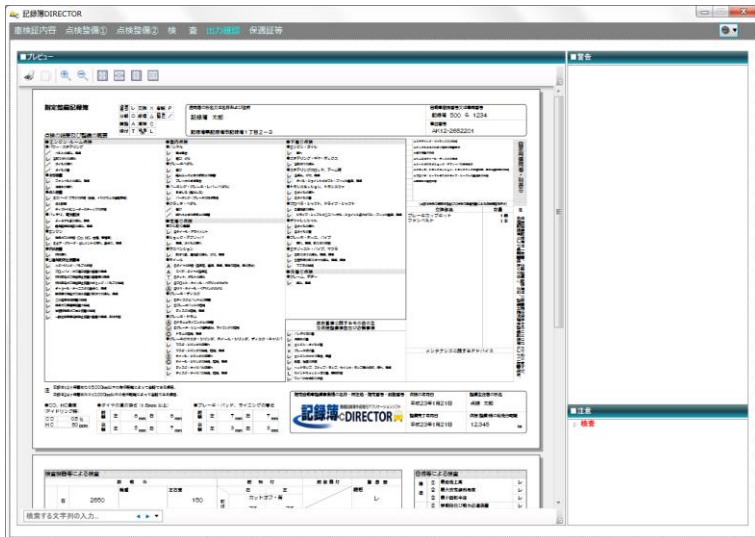
整備主任者名の入力時と同様に**自動車検査員**を選択入力してください。

保安基準適合証番号及び保安基準適合標章の番号をキーボードを使用して入力してください。

保安基準適合標章交付の有無を 又は をクリックして、入力してください。

限定保安基準適合証交付の場合は番号を入力してください。

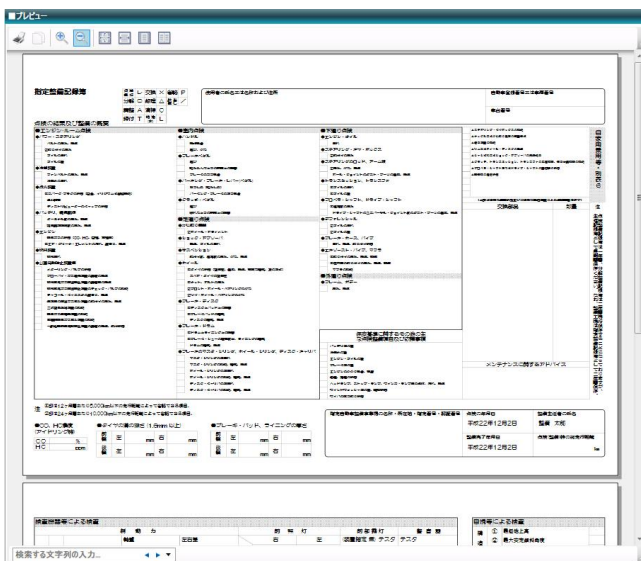
第二章 操作 出力確認タブ



作成する記録簿の**最終確認**と実際の**発行**をするタブです。


実際の発行（印刷）をされる前に右側の**警告欄**や**注意欄**、また**プレビュー欄**にて実際の出力をよくご確認ください。

プレビュー画面

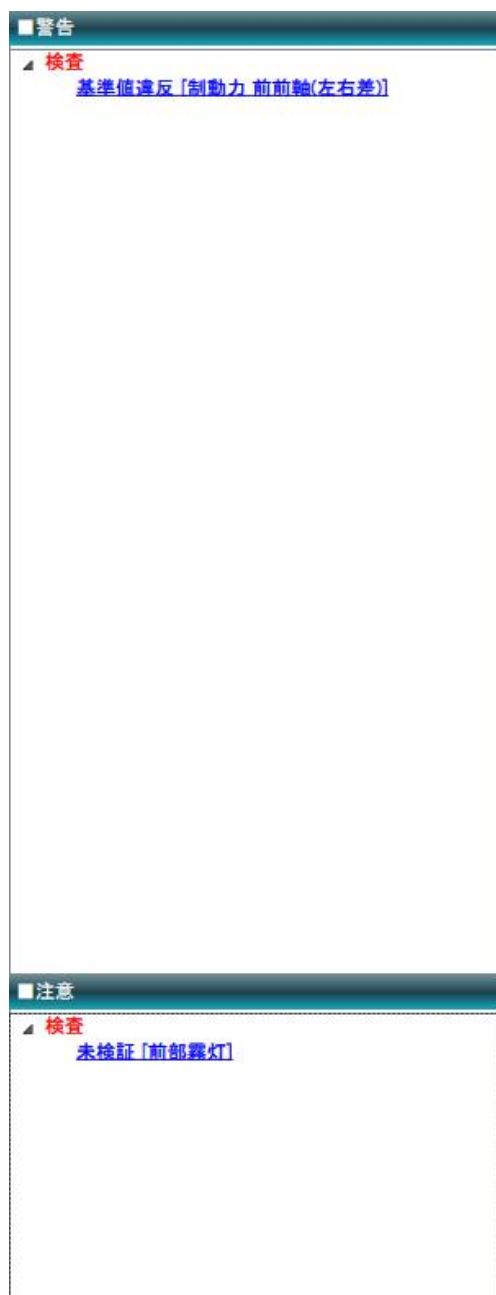


実際に発行される状態を確認します。

スクロールバーや上部のツール

 を使用して、ご確認ください。

警告と注意の表示



指定整備記録簿発行の際に、**車検証情報**と**検査数値**をもとに、保安基準に違反となる入力や、記載上の不具合やミスが警告や注意として表示されます。

明らかな違反やミス、不具合などは警告欄に表示され、現車の確認が必要となる場合など、車検証情報と検査数値だけでは判定できない内容については注意として表示されます。


(左図の例においては、**検査タブの制動力の前前軸の左右差が保安基準に違反していることを警告として表示、検査タブの前部霧灯欄について装置が現車に装備されているかいないかの注意**が表示されています。)

警告と注意一覧

警告名	内容
未入力	必須情報が未入力です。
基準値違反	入力値が保安基準に違反しています。
検査方法違反	検査方法が不適切です。
保安基準入力不正	保安基準入力方法に誤りがあります。
無効入力	その入力方法は不正です。
D S 視認不可能	視認による黒煙検査が許可されていません。
オパシ測定必要	オパシメータでの検査が必要です。
オパシ視認不可能	オパシメータ測定後の視認による検査適合が許可されていません。
スクリーン検査不可能	すれ違い灯カットオフ無の場合、スクリーンでの検査は行えません。
走行用検査対象外	走行用前照灯での検査が許可されていません。
すれ違い灯検査対象外	すれ違い灯での検査が許可されていません。
保安基準適合標章の 交付不可	保安基準適合標章の交付は行えません。

注意名	内容
要現車確認	車検証情報のみでは判定できません。現車を参考に判定してください。
要オパシ測定車確認	オパシメータでの検査が必要なお車かご確認ください。
未検証	未検証の項目です。
製作月不明のため、 要現車確認	前照灯の検査方法の基準がお車の製作月不明により判定できません。
燃料の種類が不明の ため、要現車確認	燃料の種類が想定外の為、判定できません。
軸数確認	サイドスリップの軸数を確認してください。

記録簿の発行

内容を十分に確認し終えることができたなら、記録簿を**プリント**します。
プレビュー画面の左上部にある  をクリックして印刷します。

注意 印刷発行された記録簿を十分に確認してください。

第二章 操作 保適証等タブ

記録簿DIRECTOR
 保適証内容 点検整備① 点検整備② 検査 出力確認 保適証等

保安基準適合証
 限 限定保安基準適合証
 番号 101 平成 27年 2月 26日交付

指定自動車整備事業者の氏名又は名称 (指定整備事業者名) **事業者印**
 事業場の名称及び事業場の所在地 (指定整備事業場所在地)

検査員印 **検査員印**
 平成 27年 2月 26日
 検査員 検査 太郎

登録簿 300 み 1234
 業台番号 GRS202-0123456
 氏名又は名称 記録簿 一部
 番 位 別 記録簿県記録簿市指定1丁目2-3
 乗車定員 5人 最大積載量
 用途 乗用 車両総重量 1875kg
 検査期間 平成 年 保 険 心 平成 年 月 日まで

指定番号 (指定番号)

保安基準適合標章
 平成 27年 2月 26日付
 3月 12日
 自動車整備番号又は業台番号 記録簿 300 み 1234

点検整備実施事業場
 番号 平成20年2月25日
 番号 (事業場認証番号)
 番号 (点検整備実施事業場名)
 21年 2月 24日

保安基準適合証、保安基準適合標章、点検ステッカーの記載アドバイスをするタブです。

印刷することはできませんが、参考にしてください。

注意 内容は事業場管理責任者、検査員が十分に確認してください。

製品アップデート

弊社では記録簿 DIRECTOR をより使いやすく改善したり、問題点を修正したりと、常に製品の品質向上に努めてまいります。

アップデートがご用意でき次第、その都度ご案内差し上げますので、製品を最新の状態にてご使用いただきますようお願いいたします。

直接のお問い合わせ

製品のご使用上のご不明点、疑問点について、弊社ではサポートデスクを設置しております。

お問い合わせ内容は弊社**メールアドレス**宛にご連絡先と併せてご記入くださるか、もしくは弊社**サポート専用電話**までご連絡ください。

記録簿 DIRECTOR サポートデスク

(受付時間：月～金 10：00～17：00)

support@prisma-service.com

☎ 089-955-1588

